



2022年5月
fujimuraナーサリ—
看護師

新緑がきれいな季節になり、新年度がスタートして、あっという間に1か月が過ぎました。子供たちは新しい環境にだいぶ慣れてきましたが、少し疲れが出てくるころかもしれません。生活リズムを整えて、健康管理に注意していきましょう。

感染症に注意しましょう

集団生活に入ると心配になるのが感染症です。大勢の子供たちが生活する保育園はたくさんの小さい子どもと一緒に生活している施設です。感染症の拡大予防のため、体調に異変があった場合（下痢・鼻水・咳など熱がなくても症状により）は、医療機関の受診をお願いしています。ご協力をよろしくお願いいたします。また、疾患によっては登園に際して医師の記載した登園許可証が必要になる場合がありますので、受診されたときは確認をお願いいたします。許可証は保育園のホームページからダウンロードできます。使用される前に必ず園にご連絡をお願いいたします。

医師の記入した書類の提出が必要な疾患（登園許可証）

麻疹（はしか）	インフルエンザ	風疹
水痘（水ぼうそう）	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	咽頭結膜炎（プール熱）
流行性結膜炎	百日咳	急性出血性結膜炎
結核	侵襲性髄膜炎菌性髄膜炎	腸管出血性大腸菌感染症

医師に相談し登園が可能になった時に保護者が記入した書類の提出が必要な疾患（感染症届出書）

溶連菌感染症	マイコプラズマ肺炎	手足口病
伝染性紅斑	ウイルス性胃腸炎（ノロ・ロタアデノウイルス）	ヘルパンギーナ
RSウイルス	帯状疱疹	突発性発疹
伝染性膿痂疹（とびひ）	—	—

目安を守って、元気に登園しよう

熱やおう吐、下痢等の病み上がりは、家で元気でも園で長時間過ごすまでには回復していないことがあります。そんな時期に無理をすると、ぶり返してかえって長引く恐れがあるので、登園再開の目安を守ってしっかり回復する時間をとってください。

インフルエンザなどの感染症は、登園再開の目安が決まっています。診断を受けたら、園にご連絡ください。



熱

- ・前の日に37.5度を超える熱が出ていない
- ・解熱剤を使ってから24時間たっている

おう吐

- ・前日（24時間以内）におう吐がない
- ・食べたり飲んだりしても吐かない

下痢

- ・前日（24時間以内）に、水のような便の出た回数が1回まで
- ・通常の食事を食べても下痢の回数が1日に数回

園で気持ちよく過ごせるように

そろそろ暑い日が多くなって来ます。快適に園で過ごせるように衣類の調整をお願いします。汗や食事で汚れる事もありますので、上下とも2~3枚ずつ成長に合わせた動きやすい体に合ったサイズのものをご用意ください。また、つめきりも忘れずに行って、ケガのないようにしましょう。

気持ちよく過ごす

服のポイント

春先から梅雨の時期は暑い日もあれば肌寒い日もあり寒暖の差が激しくなります。寒いと風邪をひくのではと心配になりますが、子どもは身体を動かすとすぐに暑がります。園には重ね着ができ、調節がしやすいものをご用意ください。

上着は重ね着で

気温差の大きい時期は、厚手のものを着せるより、長そでシャツの上に、半そでシャツやベストを重ね着するほうが調節しやすく、快適に過ごせます。

タイツは避けて！

手や足先は体温調節を担っていて、汗をたくさんかきます。園では、タイツは避けてください。

着替えには

長そでと半そでを

気温やその日の活動に合わせて衣類を選べるよう、園の着替えには長そでと半そでの両方の衣類を用意してください。



爪について

爪（つめ）が伸びていると、友達をひっかいてしまったり、折れたりなどと、けがの原因となります。また爪は、汚れが溜まり不潔になりやすいところにもかかわらず、指しゃぶりや爪をかむくせがある子どもも多く、汚れたままにしておくとうばい菌を直接取り込んでしまいます。週に一度は指先のチェックを行うようにしましょう。

爪の働き

指先を保護したり、手の平側からの感触を受け止めたりする他にも、爪から健康状態を知ることができます。爪全体の色が紫色をしていたり、白くにごっていたり、すじや溝ができていた場合は病気の可能性もあるので気になる場合は病院へ行きましょう。

爪ケアのポイント

爪の手入れの目安は1週間に1回程度です。お風呂上がりの爪がやわらかい時が切りやすいのですが、切り過ぎるとばい菌が入ることもあるので深爪にならないよう、十分に気を付けましょう。



全園児定期内科健診のお知らせ

6月は全園児の定期内科健診があります。健診日は「母子手帳」をお持ち下さい。尚、「けんこうのきろく」を園に返却していない方はお持ち下さい。※新型コロナウイルスの影響で予定が変更となる場合もあります。

